

令和 8 年度京都市予算案 新規・充実等 事業概要

総合企画局

事務事業名	世界から選ばれるまちに向けた調査及び受入環境の充実		
予 算 額	21,700 千円 (全体事業費 24,700 千円のうち新規・充実分)	新規・充実・継続の別	新規・充実
担 当 課	国際都市共創推進室 国際担当(222-3072) 大学政策担当(222-3103)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 今後 25 年間のまちの羅針盤となる「京都基本構想」では、世界中の国や地域から突き抜けた人材が集まるよう、多様性と包摂性をさらに高めることを掲げている。 また、本市の外国籍市民は、留学生を含め約 6 万 8 千人（令和 7 年 12 月末時点）と過去最多となる中、令和 7 年度に実施した実態調査では、日本人と外国籍市民の交流拡大や、外国籍市民に京都の文化やルール・マナー等をより丁寧にお伝えし、相互理解・相互尊重を促進することの必要性を確認した。 そのため、引き続き、外国籍市民が地域に調和しながら安心して快適に暮らし、活躍できる環境を整えるとともに、世界から多様な人材や企業を引き付け、京都のまちの活力につなげることが、一層重要となっている。			
〔事業概要〕 世界中から突き抜けた人材が集まるまちを目指し、クリエイティブ人材などの専門人材の受入れ等に関する調査・分析を行うとともに、多文化共生社会における相互理解・相互尊重の意識醸成に向けて、海外からの転入時に必要な情報の提供や、市民団体との連携等による外国籍市民との交流機会の拡大、留学生向けの文化体験事業を実施する。			
1 世界から選ばれるまちに向けた調査及び相互理解・相互尊重の促進（新規） (1) 世界中から突き抜けた人材が集まるまちとなるためのクリエイティブ人材等の調査 多彩な人材が世界から京都に集い、京都で交わり、様々な価値を生み出していただくための取組を検討・推進するため、クリエイティブ人材などの実態把握や、受入れに当たった課題などに関する調査を行う。 (2) 市民団体との連携等による相互理解・相互尊重の意識醸成 在住外国人コミュニティを含む市民団体によるネットワークづくりや活動の支援を通じて交流機会等の充実を図る。また、生活ルールなどを含む京都での暮らしに必要な情報をリーフレットでまとめ、転入時等に配布することにより全市的な周知を図る。			
2 京都で学ぶ留学生の受入環境支援・体験交流促進事業（充実） (1) 来日直後の留学生に対するサポート（ウェルカム・パッケージ） これまでから大学等のキャンパスで実施してきた、行政手続きやゴミの出し方など生活ルールの情報提供を行うガイダンスについて、実施回数の増加や実施場所の拡大など、留学生の利便性向上を図る。			

(2) 京都の文化芸術を体験する参加型プログラム

留学生が卒業後も京都に愛着を持ち、京都と接点を持ちながら活躍してもらえる環境づくりに向けて、京都ならではの文化芸術や伝統産業の魅力をじっくりと体験する参加型プログラムの実施回数を増やすとともに、大学や留学生のニーズに応じ、英語でのプログラムも新設する。

[参 考（他都市の状況・事業効果など）]

世界から選ばれるまちに向けた調査及び相互理解・相互尊重の促進 (令和8年度新規事業)

2月市会にて審議中

世界中から突き抜けた人材が集まるまちとなる ためのクリエイティブ人材等の調査

1. 概要

予算額1,000万円

「京都基本構想」(令和7年12月策定)とともに、今般改定予定の「新京都戦略」を踏まえ、京都で様々な価値を生み出しているため、クリエイティブ人材(※)の実態把握や、受入れに当たっての課題などに関する調査を行う。

※アーティストやクリエイター、科学者やエンジニア、職人、料理人など、新たな産業創出をはじめ様々な場面での活躍につながる創造性をもった人材

2. 主な内容(想定)

ヒアリング調査(京都にお住まいの方、京都に関わりを持つ方、関係機関、企業・大学など)、既存調査結果の分析、その他参考事例等を調査し、今後の施策検討の方向性を検討するための基礎情報として活用する。(調査結果は令和8年度内に取りまとめる予定)。

市民団体との連携等による相互理解・相互尊重 の意識醸成

1. 概要

予算額800万円

「外国籍市民等の意識・実態及び受入れに関する実態調査」の結果を踏まえ、市民団体等による活動の支援等を通じて交流機会の充実等を図るとともに、生活ルールなどを含む京都での暮らしに必要な情報をリーフレットでまとめ、わかりやすい周知を進める。

2. 主な内容(想定)

(1)市民団体等のネットワークを通じた交流促進
コーディネート者を配置し、外国人コミュニティや支援団体などの市民団体等によるネットワークづくりや団体活動を支援(活動場所の提供や団体活動をPRなどの広報面での支援)し、団体活動の更なる活性化と市民をはじめ、様々な主体との交流機会の拡大につなげる。

(2)京都の習慣・マナー等を含む生活情報をまとめたリーフレット作成
ゴミ出し、自転車利用などの生活ルールなどを含む京都での暮らしに必要な情報をまとめたリーフレットを作成(3万部)し、区役所(転入時)等での配布のほか、HPなどの情報発信や学校・企業への周知等、様々な機会を捉えて全市民的な周知を図る(リーフレットは「やさしい日本語」、「英語」で作成予定)。